



# もとやま桜援隊



「もとや

ま桜援隊」です。幅広い地域住民

の参画により、地域と学校が連携・協働して地域全体で未来を担う子どもの成長を支え、地域を創生する活動を推進していく目的でできた組織です。

町の教育行政方針の中にも、「学校と地域との連携・協働の一層の充実を図る。」「教職員の働き方改革に関わって、桜援隊の取り組みを強化する。」とあります。「もとやま桜援隊」としましても、今までのように「できる人が」「できる時に」「できることを」を基本に、学校・子どもたちのために支援・協働活動を行っていきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

## 学校と地域のパートナーシップの構築

### 学校教育の充実

- 地域の様々な大人が学校の活動に関わる。
- 多くの大人が子どもたちを見守る。
- 地域住民の協力を得る。

- ★子どもたちに多様な体験・経験の機会が増える。
- ★規範意識や自尊感情、コミュニケーションの向上につながる。
- ★子どもたちの学力や生活面での問題の背景を把握し、一人ひとりの状況に応じたよりきめ細やかな教育ができる。

### 地域の教育力の向上

- 地域住民が、自らの経験や知識を子どもたちの教育にいかす。
- 地域住民が学校の教育活動に関わることで、地域の絆が強まる。

- ★生涯学習の成果をいかす場が広がるとともに、地域住民の自己実現や生きがいづくりにもつながる。
- ★地域の活性化や、学校を核とした地域づくりにもつながる。

★もとやま桜援隊は下記の3つの事業を行っています。

地域学校協働本部事業  
《学校桜援隊》

放課後子ども教室推進事業  
《放課後桜援隊》

家庭教育支援基盤形成事業  
《家庭桜援隊》